

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	117	サポーター制度による公園管理					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	02	公園、広場などの整備充実					
事業内容							
目的	区民等が公園のサポーターとなって自発的かつ自主的に公園管理を行うことにより、公園利用の活性化と快適な公園施設環境を実現し、暮らしやすい地域を創出していきます。						
対象・手段	ボランティア活動により公園管理をするため、サポーター自身が活動計画を立て、活動者と区とで活動内容の合意形成を図ります。区は活動計画作成の相談のほか、活動内容に沿って、資器材の貸与・支給・ボランティア保険加入等の必要な支援を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
公園利用者である近隣の区民等が公園の管理に参画することにより、公園利用の活性化と快適な公園施設環境を実現し、暮らしやすい地域を創出します。公園はその新しい屋外レクリエーション機能として、「生きがい感」や「社会貢献意欲の充足」を提供するようになりました。さらにサポーターは特定人が頻繁に特定公園に立ち寄ることから、「匿名性を原因とする犯罪の予防」や「ホームレスの公園居留の抑止力」にもなっており、暮らしやすい地域の創出につながっています。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
公園のサポーター活動のある公園数	ひとつの公園を1活動として換算します。1公園で2組以上のサポーター活動があつて重複する場合も1公園として数えています。	(平成19)年度に (45園)の水準達成					
		()年度に ()の水準達成					
		()年度に ()の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値1	園	36.00	42.00	41.00	43.00	(目標値1) 17年度 41園 18年度 43園 19年度 45園
	実績1	園	29.00	33.00	40.00	50.00	
	= /	%	80.56	78.57	97.56	116.28	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	40園/337名/40組 (実施園数/参加人数/団体数)						
平成18年度	50園(のべ56園)/348名/50組 (実施園数/参加人数/団体数) 公園愛護会及び区民花壇との事業統合を図り、公園サポーターに統一しました。						

部名称		環境土木部		課名称		土木課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	776	781	196	388	
	人件費	千円	4,169	4,169	4,169	4,140	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	4,945	4,950	4,365	4,528	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	4,945	4,950	4,365	4,528	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	4,945	4,950	4,365	4,528	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>サポーターは、自発・自主活動のため、内容や頻度等について進行管理することはできません。今後、公園管理手法の多様化に対応していくため、サポーター活動もひとつの公園管理手法として確立できるよう引き続き調査検討していく必要があります。一方、一部のサポーターが排他的に公園を管理する等の弊害が起きないように、サポーターの輪をより広げていく必要があります。そのため、サポーターの総会や発表会などのコミュニティの場の形成も必要であると考えます。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	目標を上回っており、計画どおりです。				
	効率性	3	行政の通常管理では目の届かない部分を地域の方にサポートしていただいているため、効率的です。				
	実施の成果	3	利用者である区民が公園の管理に加わることで、公園の活性化が図られています。サポーター活動の活発な公園では、その公園の個性が特化され、公園と地域との密着度が高まっています。				
	行政の関与	3	本制度は自主的活動のため、必ずしも長期的活動が期待できず、実施頻度が不十分な場合は行政によるフォローが必要となります。また、行政の後押しを受けての活動であることの周知（腕章貸与）がサポーター活動を支えている部分もあります。				
	妥当性	3	地域が求める公園管理を行う上で、区民等の参画を得ることは、有効な手段であると思われれます。				
	施策寄与度	2	自主活動であることから、実施頻度・内容の計画的な進行管理はできませんが、住民参加で行き届いた細かい公園管理への寄与が期待できます。				
総合評価	公園の利用者である区民と話し合いながら、今後の公園・児童遊園の維持管理を進めることができたことは、区民が快適と感じる公園の実現を目指す上で、非常に有効な手法だと考えます。今後も継続して実施していくことは妥当であると考えます。						B 過年度評価
							17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
改革方針							方向性
	現状のままの継続を基本的な考え方とする上で以下の方策に向けた検討をします。サポーター同士の情報交換を進めながら、公園管理の知識とボランティア意識の醸成を図り、参加者を拡大します。より多くの方に公園管理に参加していただけるよう、サポーター活動を活性化させながら管理手法の多様化を目指します。						1 現状のまま継続